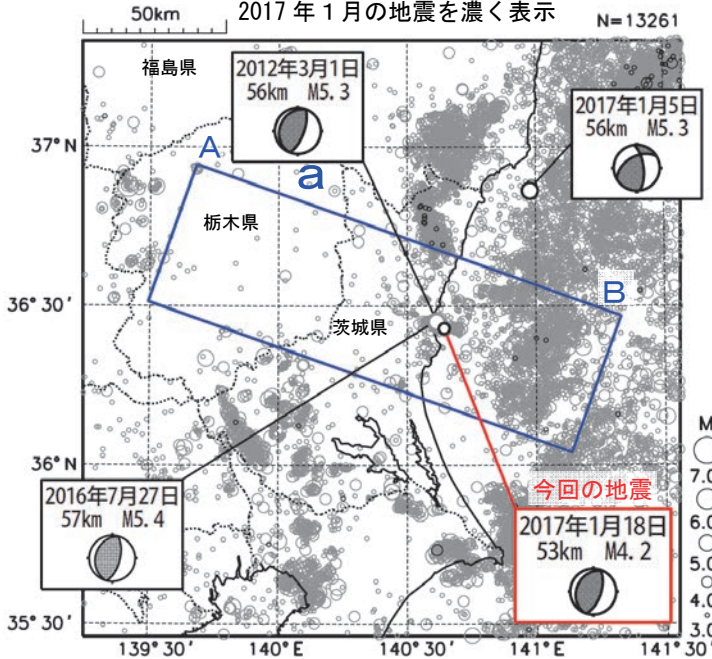


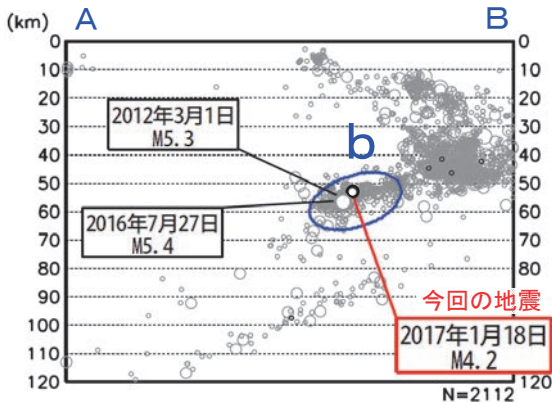
# 1 月 18 日 茨城県沖の地震

## 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、  
深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$ )  
2017 年 1 月の地震を濃く表示 N=13261

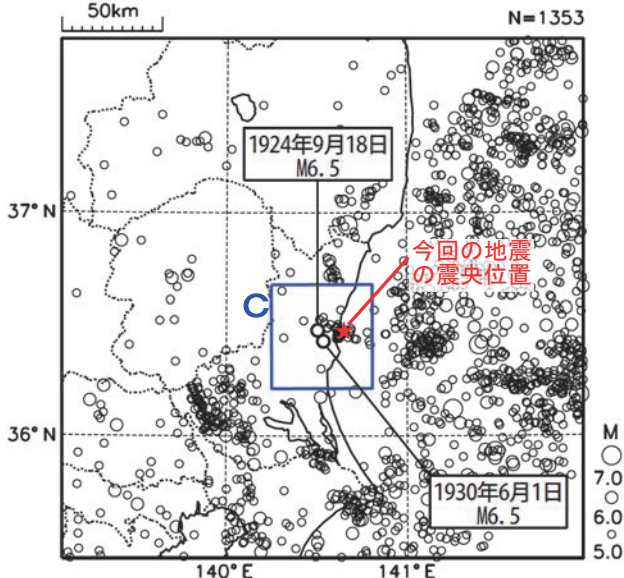


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



## 震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$ ) N=1353

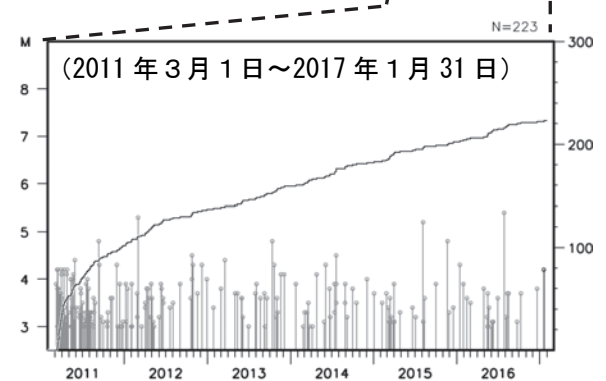
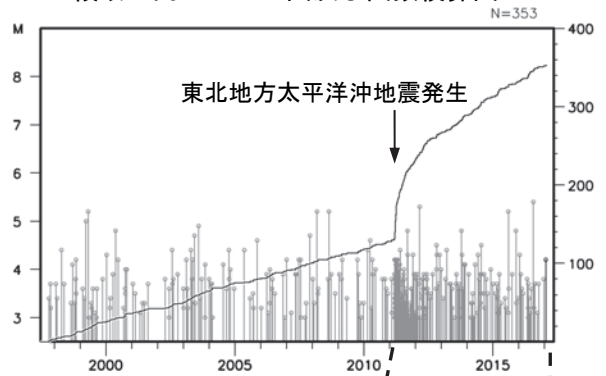


2017 年 1 月 18 日 17 時 19 分に茨城県沖の深さ 53km で M4.2 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M5 程度の地震が時々発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012 年 3 月 1 日には M5.3 の地震、2016 年 7 月 27 日には M5.4 の地震 (ともに最大震度 5 弱) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、M5.0 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930 年 6 月 1 日に発生した M6.5 の地震 (最大震度 5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

## 領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



## 領域 c 内の M-T 図

